

広報  
11月号

# 東京都製紙原料協同組合

発行所  
東京都製紙原料協同組合  
台東区台東3-16-1  
TEL (3831) 7980  
発行人 坂田 智  
編集 広報部



広州「陳氏書院」

**時の視点**

直近の古紙輸出市況について  
東方物産(株)統括部長 曹 崢 2  
理事長就任の挨拶  
理事長 坂田 智 3

**時の話題**

直納部主催「広州・海外視察研修」  
レポート1 文京支部 小林史朋 4~5  
レポート2 足立支部 近藤英彰 5~6  
東京都資源回収事業協同組合との懇談会 6~8  
青年部主催「丸住製紙株式会社と  
愛媛パルプ協同組合の視察」  
足立支部 新井正樹 8~9  
T P I C O 認定講習会と維持更新研修会 9  
賛助会員について 9  
組合員のメリット 9~10

**支部便り**

文京支部納涼会 文京支部長 梨本竜範 11  
城南支部 ボウリング大会開催  
城南支部 井出一之 11

**組合員の広場**

新組合員の紹介 城北支部 小黒義昭 12  
メキシコと南米旅行  
広報部長 清水弘允 12~14  
「ものの数え方」城南支部 坂田秀一郎 14  
「古紙用語」 14

**支部スケジュール**

**お知らせ**

「12月会議」「古紙価格」[組合員新入会][住所変更] 15~16

**会議概要** [9月・10月] 16~20

**編集後記** 広報部副部長 宮内啓悟 20  
**広告** 21~30

## 時の視点

### 直近の古紙輸出市況について

東方物産(株) 統括部長 曹 崢

今年は中国の環境規制が本格的に厳しくなり、多方面で状況が目まぐるしく変わっています。特に国内メーカーの在庫逼迫が数字上に表れた夏頃から、世界が懸念していた米中貿易戦争が本格化しました。中国が輸入する米国古紙に関しても関税率25%が確定し、米国サプライヤー側と中国メーカー側とで、共に対応に追われました。

例えば8月中旬当時の価格ではJOCC#11:275ドル前後/tonとAOCC#12:270ドル前後/tonとほとんど変わらなかったのですが、関税率25%＝約68ドル/tonと計画外の大きなコストが急に乗せられた事で、その後は日本品などへの引きが強くなりました。また上記要因以外にも日本では地震や台風、大雨が多発して古紙の発生が悪く、さらに日本国内の古紙価格を押し上げることになりました。

新聞も段ボールも国内と海外メーカーが高値を更新していき3～4ヶ月程で約100ドル/tonと最近で見た事のない急激な値上がり起きています。特に新聞に関しては仕入競争が過熱して市況とかけ離れた高い裏価格的なものも、色々な所で耳にする事となっています。

しかし中国においては製品の売れ行きは悪く在

庫過多となっている状況で、国慶節前には数多くのメーカーが休転を決定し、中小の運転資金が乏しいメーカーでは相場より安い価格で仕方なく販売しているとのことです。中国の国内古紙価格が下がり、11月度の関東商組の公表価格から計算すると輸入古紙の価格が中国国内古紙の価格を超えました。

また中国の輸入ライセンス発行についても、ここ数ヶ月大手メーカーでも数10万トンと少量でしたが、10月18日に大手メーカーを中心に約200万トンのライセンス発行がありました。ライセンスは年内に消化しなければ失効し、翌年のライセンス発行数量に影響が出ます。そこで各メーカーはライセンスが発行される前から予測と計画をたてながら船足の長い欧米品をメインに日本品等の契約をある程度、先にしていきますが、この時期における大量発行では確実に欧米品の追加契約が難しくなります。

そのため一部の大手メーカーはライセンス消化のため、さらに一段と値上げをして日本からの古紙仕入を強化しています。しかしその他メーカーにおいては既に書いたように製品の売れ行きや2020年以降の古紙輸入禁止による古紙ライセンス発行の終焉を見据えて、現状の日本の古紙の価格競争に参加しないと明確に表明しています。一部のメーカーが価格を牽引する為、しばらく市況としては高値が付きますが、今年のライセンス使用が間に合わなくなる12月初旬以降は価格変動が予想されます。

2018年関東商組ドル価

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
OCC	202	191	—	—	183	—	220	243	290	305	310
ONP	—	222	—	—	217	210	230	253	295	325	368

## 理事長就任の挨拶



理事長 坂田 智

組合員の皆様へ

いつも大変お世話になっております。

この度、前理事長である赤染清康氏が一身上の都合により辞職され、あとを任される事になりました坂田 智です。

突然の事で、私のような者が理事長の大役をやっていいものか、大変悩みました。しかし直ぐにやって頂ける方もおられず、副理事長であった上、理事の皆様を押された事もあり、組合を混乱させてはいけないと思ってお受けするに至りました。

ただ私の会社は零細企業で社員が休むと現場に行かなければならない会社です。従って執行部の皆様に助けていただかないと理事長の業務を遂行出来ません。

来年5月の総会で次の理事長にバトンタッチするまで、7か月全力で頑張っていく所存ですので宜しくお願いいたします。

古紙業界は、先の見えない大変な状況にあると認識しています。

2020年には中国が古紙輸入をストップすると言われております。習近平主席はメンツにかけて実行するだろうと業界の方々も仰っています。ただ実際には古紙の需要は堅調なので、1～2年程は混乱するでしょうが、その後は安定していくのではないかと思います。

私が現在の組合で一番やりたい事は、人手不足の

問屋と産業古紙主体の集荷業者が協力して仕事を維持し、そして増やす事です。

以前にも試みましたが、それぞれの会社の思惑で出来なかったと思います。例えば取引のある問屋と集荷業者が20社位集まり、具体的な回収場所、回収時間そして回収量を記して、全員にメールを送付します。そして対応出来る業者があれば、その都度返信して引取条件を決めれば、効率的な取引が出来ると思います。

この様な事が少しずつ上手く行けば、最終的に問屋が組合員の集荷業者に依頼メールを送付するだけで済む事になります。

但し扱ひ量が減少して時間に余裕のある集荷業者が登録するのが、一番良いと思います。

なかなか難しいでしょうが、やってみない事には何も始まらないと思います。皆様も考えてみて下さい。



## 時の話題

### 直納部主催 「広州・海外視察研修」レポート1

文京支部 小林史朋

視察日：2018年10月16日（金）

東京都製紙原料協同組合

海外視察研修会参加者14名

段ボール原紙の生産でアジア最大規模を誇る中国の製紙工場 玖龍紙業有限公司(ナインドラゴン) 東莞工場を視察した。



訪問すると会議室での質疑応答の時間が設けられた。ライセンス問題については不透明だが継続して発行されているので心配していない。2020年問題と言われる輸入古紙取引禁止については、政府からの説明はない。しかし中国国内には14億もの人口がいるが木材が少なく古紙を使用しなければならず輸入古紙がないと補えないので取引は継続するだろう。しかし環境問題（ゴミ問題）も深刻なため品質の良い物に限られる。日本の古紙は何度か再生されていて強度が弱いが品質が良く使用しやすいとの事だった。ナインドラゴンでは9つの工場でごみを出さずに処理出来ている。ナインドラゴン張氏より、古紙はほしい時だけではなく長期安定的に取引したいと強く語られた。



それから工場を案内して頂いた。工場内はとにかく広く規模の大きさに驚いた。

東莞工場の年産能力は525万tにもなり、9つの工場全体の30%を占める

玖龍紙業有限公司最大規模の製紙工場である。

古紙使用量は50万t、大型のVOITH製マシンを視察した。見渡す限り清潔に保たれており衛生管理の徹底さを感じた。

次にバスで1時間ぐらい走り古紙問屋のヤードを



見学した。

主に段ボールを扱っておりベラー2基で月間8000tの扱い量になる。内訳はプレス品5割バラ物5割、とにかく分別に力をいれており日本の段ボールより綺麗だと思った。品質が悪いと値引きさせられてしまうとの事だった。OCCA品2500元/1t、C品1700元/1t他にも紙管のみのプレス1400元/1t、卵パックなどの雑品1000元/1t、糸も扱っており分別しているA品6000元/1t、B品3000元/1t、扱っている品目は少ないが作業効率が良い参考になった。（1元あたり約17.5円）



箱車に満載に積まれた段ボールを降ろしている所を見学出来た。日本でこのような積み方をしないと。あまりパッカー車を見なかったが数年後にはパッカー車だらけになるだろう。



人件費も高騰しており分別している作業員の方の月の給料5000～6000元 中国の経済成長に驚いた。

中国視察に参加しまして予想していた状況と実際に目にして感じたものがまるで違った。

今の自分に出来ることは、品質を守り国内外に原料を出す事だと思いました。

## 「広州・海外視察研修」レポート2

足立支部 近藤英彰

平成30年10月14日から17日まで、東京協組直納部にて広州に行きました。東莞にある玖龍紙業視察見学会に参加したので、以下ご報告致します。

【10月14日（日）】

午前9時15分の広州行に乗り現地時刻で午後2時に到着、空港で通訳兼ガイドの李氏と合流し、

当日は滞在先である日航ホテルにむかう前に広州市内にある西漢南越王博物館を訪問、中国の歴史について学んだ。こちらの施設は1983年のマンション建設時に地中から偶然発見された簡単に言うと日本の古墳である。中からは2千年前の南越国王とその家族の墓床、当時の政治経済文化の発展様相を反映した金印や遺体を包む工芸品などが出土し、当時の文明がいかに進んでいたかを知ることができた。夜は市内で広東料理のレストランへ。四川料理というと全てが辛いイメージがあるがそんなことはなく、皆箸が進んでいた。

【10月15日（月）】

広州滞在2日目だがこの日は一日市内観光。当初玖龍紙業を見学する予定だったが先方の都合により日にちが入れ替わったためである。午前中は市内にある白云山に登った。

標高380mで、通常は市民が登山や運動をしたりして賑わっているようだが、当日は雨のため閑散としており、残念なことに頂上からの景色も霧がかかっていて何も見ることはできなかった。



それから少し南にある越秀公園でシンボルとなっている「五羊石像」を見学し、昼食の飲茶へ向かった。

レストランは若者が集ういわゆる繁華街（日本でいう上野のような？）にあり、本格的な中華という感じではないが、日本にある中華料理のような味で日本人の舌にあうように作られているよう

に感じた。昼食後少し散策をすると道端に段ボールを積んだリアカーが多く見られた。日本ではもう見ることはないような昔のリアカーである。中国ではパッカー車が存在しないようだ。



午後も同じく市内観光で中山記念堂へ。1931年に革命指導者であった孫文を記念して建設された有名な観光スポットで、こちらのホールでは日本の歌舞伎なども上演されたことがあるようだ。最後に訪問したのが陳氏書院。市内の中山七路に位置しており、約220年前に広東省に多い「陳」姓の人々が祖先を祭り、子弟を教育するために作った書院であり広州の貴重な建築物となっている。平日だった為か人は多くなく、李氏の説明を聞きながらゆっくりと繊細な彫刻や工芸品を観察できた。



それからホテルに戻り、ホテル内のレストランにて四川料理を堪能した。

## 東京都資源回収事業協同組合 との懇談会

[平成30年9月19日(水)午後5時30分～]  
於) 東資協会館会議室

出席者： 東京都資源回収事業協同組合 14名  
東京都製紙原料協同組合 11名

### 代表者挨拶

**松本 理事長** (東京都資源回収事業協同組合)  
回収業者の東資協と古紙回収の東京協組が共に分別をしっかりと品質の良い商品を世界の市場に提供していく。これを強みにして仕事をして行けば情勢に惑わされることなく我々資源業界はやって行ける。

**坂田 副理事長** (東京都製紙原料協同組合)  
中国の動きにかかわらず我々は仕入れ競争に走らず、輸出してもシップバック等がないように皆さんの会社でも社員に品質第一の教育を徹底してしっかりした選別をお願いしたい。



### 古紙業界の現況 (東京協組)

**1. 古紙全般に関する現況「上田 直納部長」**  
中国の輸入規制の影響が年内続くのかと言う点については、今年の初め頃よりは良くなるのではないかと予想しています。昨年、輸出が好調だった頃は、国内メーカーは古紙の使用を下げ対応をしていました。今年に入り、輸出が弱くなって国内メーカーに古紙が多く入り在庫が増加しまし

た。現在は古紙の発生が悪く価格は底を打ったようです。

## 2. 産業古紙の現況「富澤 直納副部長」

産業古紙の供給源は出版と商業印刷が大きなウェートを占めています。現状は出版業界が良くない事と商業印刷についても紙媒体を使用した広告が良くない事があげられます。出版の売上はピーク時の半分になってしまっています。その影響があつ古紙の発生が厳しい状況にあります。

富士地区では中国の輸入規制の影響で古紙が日本国内に逆流している傾向が見られます。国内の家庭紙メーカーは古紙の入荷が良く価格も上がりにくい状況になっています。今後も産業古紙も発生が悪く価格も上げづらい状況が続いていくと思われます。

## 3. 集荷にかかわる現況

### 「近藤（昌）副理事長」

この情報交換会ではここ何年も同じことを申し上げていますが発生が悪いです。今年は特に悪く3月は製本・印刷会社は繁忙期で、例年ですと日曜・祭日休まないでやるのですが、今年は、一部日曜日に休みました。今までにない事でちょっと拍子抜けしました。3月を過ぎて9月に入っても未だ動きが鈍く、製本・印刷会社さんは今年は相当仕事が減っているのではないかと思います。ただ、発生は少なくとも上物の単価は中国の問題もあり、ちょっと危ない感じもありましたけれど、とりあえず安定していますのでその点だけはいいかんと思っています。しかし前回にもお話しましたようにアウトサイダーの業者が常識では考えられないような単価表を印刷・製本会社さんに置いて行きます。その単価表の事をお得意先に言われると、守るためには価格を見直さなければならぬので利益率が減り、大変厳しい状況でどこも苦

労しているようです。

## 資源回収業界の現況（東資協）

### 1. 回収業者の現状

古紙価格は安くなり、発生量も減少。集団回収だけでは事業展開は厳しい時代となっており、行政回収委託事業に頼っている事が多い状況です。その委託業務では、人が足りない問題もありまして、他の清掃事業委託業者との兼ね合いから、委託料が多少上昇傾向にあります。処理単価が上昇したことにより、減車を検討している地区が増えており私たちにとってはいいのか悪いのかという状況です。

多くの地域で雑がみの資源化に取り組むようになりました。ただ各地域のごみ性状調査を見てみると、まだまだゴミの混入率は高いので分別の周知徹底を図り回収量増加に努めております。

集団回収事業においては、その地区への行政との交渉によって状況が違いますが、回収業者への助成金を検討している地区も増えておりますし、団体への報奨金を増やすことによって集団回収にもう少し出そうという取組を行っているところもあります。

東資協としては地区ごとの交渉が多いので、今まで具体的に東京都との交渉を行って来ていませんでした。その辺のパイプを太くするために積極的にオリンピックの話もそうですが東京都の各関係部署と交渉を続けているところでございます。

### 2. 今後の課題

#### ① 持ち去り業者撲滅

今後の課題ですが、やはり持ち去り業者が価格が落ちて減らない状況です。

新聞はもちろん雑誌を持って行く持ち去り業者もいます。最近では地区によって段ボールをパッカー車で持って行ってしまいう持ち去り業者も現れ

たという事で、頭を抱えています。中でも一番の問題は行政回収だけでなく、集団回収品の被害も非常に拡大しており、したがって我々回収業者だけではなく1番の被害者である地域住民との連携した行動が重要になってくるという事です。その為に地域リサイクルイベント、例えば「とことん討論会」に松本理事長がパネラーとして参加するなどして、地域との連携を深める事を重要視しています。

## ② 資源回収業者としての地位向上

二つ目の課題として、資源回収業者としての地位向上を今後取り組んでいくべきと思っております。

清掃工場の発表によると清掃工場に運ばれる可燃ごみの44%が再生できる資源古紙が入っているという事です。この辺を積極的に業者が回収する事が出来れば、我々としては量も増えますし業務としてもいいものになると考えています。

## 【丸住製紙株式会社 愛媛パルプ協同組合 視察】

株式会社新井商店 新井正樹

10月24日(水)午前、丸住製紙株式会社を視察。冒頭、会社の担当者の挨拶があり紙販売額は全国で愛媛県四国中央市が1位と説明を受けました。私として初めて知った驚きとこの地域への関心が急に高まりました。次に会社紹介のDVD上映があり、その後工場内を見学。工場内は古紙ヤード



と解梱機を見て、ドラムパルパーもじっくり視察。回転するドラムに古紙を入れ、水と洗剤で溶解し、フローテーターでインクを取り除き、その後、抄紙工程に移り、最終工程を得て紙製品になる様の見学が終了。工場の広さ、機械設備、紙を作る工程の複雑さに感銘を受けました。

午後、愛媛パルプ協同組合を視察。月間古紙使用量5000t~6000tで、パルプ4000tを生産。古紙を原料として再生パルプを生産し、パルプは家庭紙メーカー8社に供給して家庭紙製品になる。供給先の製紙メーカーで家庭紙製品になり、そこからエンドユーザーへと届く。資源の循環型供給システムを行っていて、古紙排出元より原料を調達し、家庭紙製品になった際には古紙排出元へ供給する仕組みで古紙排出元とは原料回収・製品供給の循環を行っている。設立は昭和45年で共同出資13社からスタートし組合数は現在8社となる。原料の8割は協同組合に供給している。古紙排出元に東京のオフィスビルが含まれる。回収する古紙の種類は5種類。機密書類、色上、込模造、オフィスミックス、見当。工場の工程はパルパー、ニーダー離解機、高濃度ニーディング法、スクリーン、脱インク、クリーナー除去、異物除去、脱臭などの工程を得て、無漂白で薬品不使用のトイレットペーパーへ加工できる原料となる。禁忌品のタッパシール以外は大体の古紙は使用できる。古紙パルプとなったものは愛媛パルプ協同組合の家庭紙メーカーへ主に供給している。古紙の排出



元企業から古紙原料を同組合の製紙メーカーへ供給し、そこで製造された紙製品を同組合が古紙を回収した排出先企業へ供給できる仕組みを作った画期的なシステムであり、斬新なアイデアとその仕組みに感銘を受け見学を終了した。

## TPICO認定講習会と 維持更新研修会

TPICOの平成30年度の認定講習会が8月7日と8月21日に行われました。

今回の受講者は(有)北信紙業と(株)小黒商店の2社でした。

平成30年度の維持更新研修会が10月10日と10月23日に行われました。

32社39名が研修会に参加され維持更新となりました。

## 賛助会員について

### 丸大食品(株)「丸大の冬ギフト」

広報11月号に「2018年丸大の冬ギフト」のお歳暮用案内書を同封致しました。

もし案内書の追加希望がありましたら、事務局へご連絡ください。必要部数をお送り致します。

是非、この機会にご活用いただければと思います。尚、最終ページに丸大食品(株)の広告が掲載されていますのでご覧ください。

## 組合員のメリット

### 全 体

1. 市況情報の入手
2. 組合員証明書の発行
3. 支部会の参加
4. 総会の参加

5. 新年会の参加
6. 他団体との懇談会の参加
7. 従業員表彰への参加
8. ゴルフコンペの参加
9. 若手従業員の青年部加入

## 割引利用

1. 団体生命保険への割引加入
2. 団体傷害保険への割引加入
3. 自動車共済保険の割引加入
4. ガソリンの割引購入
5. 高速道路の割引利用、ポイント利用
6. プレス機のオイル交換の割引利用
7. 「丸大食品」贈答品の割引購入
8. 「たのめーる」による文房具の割引購入

## 全原連関係

1. 古紙再生資源化証明書の利用
2. 古紙商品化適格事業所の資格取得
3. 古紙リサイクルアドバイザーの資格取得
4. J-BRAND表示ラベルの購入

## 関係団体

1. 静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会の参加
2. 製本工組との懇談会参加
3. 東資協との懇談会参加
4. 古紙再生促進センター関係行事の参加  
(古紙リサイクルセミナー他)

## 直納関係

1. 直納部委員会の参加
2. 共販輸出への参加
3. 海外研修の参加(集荷部参加可能)
4. 直納部納涼会・忘年会の参加

## 集荷関係

1. 集荷部委員会の参加
2. 集荷部新年会の参加

## 広報関係

1. 広報誌の入手（各種情報の入手）
2. 広告の有料掲載（暑中・年賀）

## 組合認定制度

1. T P I C O（ティピコ）個人情報保護体制制度の取得

## [共同購入]

### プレス機のオイル交換について

#### 共同購入委員会

共同購入事業のプレス機のオイル交換の時期がやってまいりました。

組合を通じて通常より格安での交換が可能となります。すでに実施した事業所では、処理のスピードや細かな対応について高い評判を頂いております。

見積もりを取って比較した結果を見て頂けると分かりますが、**1,000リッターのオイル交換で約5万円近い差が出ております。**

**又、日曜、祝日、朝早い時間等の作業も可能です。**  
どうぞこの機会に是非、ご利用くださいますようお願い致します。

手続きは簡単です。組合にご連絡いただき「**プレス機オイル交換申込書**」を受取り、**必要事項をご記入し組合宛てにお送り下さい。**

交換時のレート（2ヶ月に1度変更されます）は、申込書の送付時にご連絡いたします。又、給油条件により追加金が発生する場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

## [都市近代化事業組合の事業利用について]

### ① E T Cカード

指定の高速道路が割引運行出来ます。

**首都高速の割引利用が出来る事になりました。**

**（ご利用の場合は新しいカード作成が必要です）**

ポイント可の高速道路でポイントが貯まると、そのポイント分が無料走行で使えます。

### ② 「ガソリンカードのご利用」について ご存知ですか？

組合では、皆様のお仕事に少しでもお役にたてるよう色々な事業に取り組んでおります。

組合では、皆さまがお使いになっているトラックや乗用車のガソリンや軽油を少しでも安く購入できる事業があります。

都市近代化事業組合が行っている事業を通じてガソリンを購入されますと・・・**全国平均と比べてハイオク・レギュラーガソリンが約3円ほど安く、特に軽油が約9円ほど安く購入できます。**

（その時の価格変動により大きく値動きがある事がありますが、あらかじめご了承ください）

専用のカードを作り、該当するスタンドで使用すると自動的に割引料金でカード決済されます。

### ③自動車共済保険

現在、割引を受けている保険料から、さらに約20%ほどの割引いた保険料となります。

### ④カーリース事業

提携リース会社を利用する事により有利なリースが可能となります。

組合員であれば、どなたでもご利用できます。

## [各種団体保険]

① 生命保険（団体保険の割引加入）

② 損害保険（団体保険の割引加入）

プレス機のオイル交換、ETCカード、ガソリンカード、自動車共済保険、カーリース事業、各種団体保険のいずれも、東京都製紙原料協同組合に加入されている組合員の皆さまの特典です。

ご希望、ご質問は組合事務局までご連絡ください。

連絡先： 東京都製紙原料協同組合

電話 03-3831-7980

FAX 03-3831-7880

## 支部便り

### 文京支部納涼会

文京支部長 梨本竜範

8月20日に丸ビル5階にあるカサブランカ・シルクで支部納涼会をしました。文京支部では納涼会は従業員、関係者も参加自由に行っているため参加者20名でベトナム料理をフレンチテイストにした創作料理を食べながら約2時間盛り上がり解散となりました。



### 城南支部 ボウリング大会開催

城南支部 井出一之

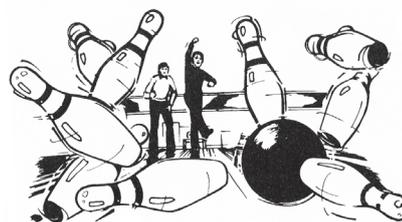
10月27日(土) 品川プリンスホテル内の“品川ボウリングセンター”において、秋のイベントとして「ボウリング大会」が開催されました。例年は夏のイベントとして、納涼会やバス旅行な

どが企画されていましたが、今年は趣を変えての開催となりました。



何年ぶりかのボウリング・・・という参加者が多かった中、“昔取った○○”ではありませんが、抜きつ抜かれつの最後まで予断を許さない白熱した好ゲームが展開されました。

ボウリングの後は、ホテル内の中国料理のバイキングへ移動し、懇親会が開催されました。坂田支部長の挨拶と乾杯。運動の後の一杯で喉を潤し、懇親を深め、お腹も満たされたところで、ボウリングの成績発表。優勝は坂田支部長、準優勝は千田さん(共益商会)、その差は僅か4ピンでした。今後も多くの支部員の方々に気軽に参加いただけるような企画を通して、相互の親睦の機会を設けたいと考えていますので、是非ご参加ください。



## 組合員の広場

### 新組合員の紹介



城北支部 小黒義昭

平成30年4月より、本組合に加入させていただきました。株式会社小黒商店 小黒義昭と申します。この度、城北支部に所属することになり、辻支部長を始め皆様方には快く受け入れていただき感謝いたしております。

弊社は、先代が35年前に古紙回収業を創業し、私が継承した後、産業廃棄物収集運搬、非鉄金属・金属くず回収と事業を拡大し、循環型社会に貢献できる会社を目指し尽力しております。

昨年中国のナショナルソードから、大きな影響、混乱が各業界に生じています。このような状況に、飲み込まれぬ様に、業界の動向や情報共有を皆様より、ご教示いただき、精進してまいります。今後ともご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。

### メキシコと南米旅行

広報部長 清水弘允

15世紀末の大航海時代には、スペインとポルトガルが世界を制覇していました。当時は地球が丸いのかも分からず、大海にでる事は大変な冒険でした。ロマンもあったかも知れませんが、主たる目的はお金で、海賊と区別の付かない輩が、危険を冒して出て行ったのです。

東に向かった冒険家は喜望峰をこえてインドに到達し、当時、肉の保存に大変貴重であった胡椒を持ち帰り、大金を獲得しました。一方、地球が丸い事を信じて西に向かったコロンブスが、新大陸を発見したのは有名な話です。しかしコロンブス自身は、新大陸を発見したとは考えてはおらず、西に向かってインドに到着した事を証明したと考えました。だから彼は発見した島を西インド諸島と名付け、現在でも同様に呼ばれています。

私は今年の夏にメキシコと南米に行ってきました。多数の世界遺産を見学してきましたが、同時に如何にスペインとポルトガルを含めた西洋人が当時、南北アメリカに侵略して原住民を虐殺したかを見聞きしました。

当時のメキシコにはアステカ文明が栄えており、南米ペルーにはインカ帝国が栄えていました。

それなりに帝国を形成していた訳ですから武力もあつたのですが、スペイン、ポルトガルの武力とは比べ物になりませんでした。当時のスペインは数世紀にもわたるイスラム勢力との戦いに勝利を収めた時期でもあり、その武力は世界でも一流だったと思われます。それに加えて当時の現地では経験した事のない天然痘などの伝染病をスペイン人は持ち込んだ為、免疫のない原住民は殆どが死んでしまったそうです。たった168人の兵隊でインカ帝国を滅ぼした話は有名です。



最初の観光はメキシコシティ郊外のテオティアカン遺跡です。BC 2世紀からAD 7世紀の遺跡で、

階段状のピラミッドが2つあり、各々「太陽のピラミッド」と「月のピラミッド」と呼ばれていました。形がエジプトのピラミッドと異なり、頂上が平らで当時は頂上に建物が建っていたそうです。

ついでペルーに移動してインカ帝国の首都であったクスコを訪問しました。海拔3400mですので、ゆっくり動かないと酸欠になると言われました。インカ帝国は13世紀に成立した農業国家で一種の連邦国家を形成していました。豊富な農業技術を周辺民族に教え、飢えの心配を解決する事が、統一の原動力だったそうです。巨大な石の建築と精巧な石の加工などの技術、土器や織物を作っていましたが、文字はなく、車輪もなく、鉄も持っていません。持っていたのは木製、石製、青銅製の武器。文字に代わる記録は「結ぶ目」で、太陽信仰でした。

今日の世界の主要穀物の大半は南北アメリカが原産地だそうです。具体的に列挙してみます。

サツマイモ、ジャガイモ、唐辛子、ズッキーニ、ピーマン、トウモロコシ、かぼちゃ、トマト、インゲン豆、ピーナッツ、ヒマワリ、イチゴ、パイナップル、アセロラ、カカオ、アボガド、タバコ等です。話は違いますが、梅毒もそのようです。コロンブスの新大陸発見後、瞬く間に世界に広がりました。日本も例外ではなく、江戸時代には既に花柳病として伝わっています。



ついでクスコから汽車とバスを乗り継いで、マチュピチュ歴史保護区に行きました。ここもインカ帝国の都市であり16世紀中頃まで続いていたようです。写真で見ると急峻な山の頂上に造られた都市の印象があり、実際その通りですが、海拔で言うとクスコからは1000mさがった2400mの所にあります。今回の旅行の目玉であり、次第に現地に近づくにつれ期待が高まりましたが、期待通りの意外性と言うか、こんな所にこんな都市が造られ長い間、忘れられたままになっていた事を思うに付け、感動を感じました。

ついで飛行機を乗り継いで、世界3大瀑布の1つであるイグアスの滝を訪れ、2日間かけてアルゼンチン側とブラジル側からじっくり楽しみました。いずれの側も歩道橋があり、かなり近くまで行く事が出来ました。滝を上から、横から、下からと見る事が出来ました。事前にレインコートを着る様に、アドバイスを受けていたが、水しぶきと滝の轟音は確かに迫力満点でした。ヘリコプターで上空からも見る事が出来て、写真だけでなく動画も撮る事が出来ました。



最後の観光は「ナスカの地上絵」。ペルーの首都リマに戻り、そこから3時間程バスに乗り、軽飛行機専門の空港に行き、そこで小型飛行機に乗り換え、上空から砂漠に描かれた地上絵を見学しました。30分位の飛行で現場上空に到着すると、

飛行士は我々が地上絵を見易いように、飛行機を左右に傾けてくれ、片言の日本語で説明もしてくれました。それでも地上絵はなかなか確認できません。言われる方向にカメラを向けて写真を撮り、帰国後に写真を拡大して写っている地上絵を確認した方が多かったと思います。それにしても2千年前に不思議な地上絵を何故描いたのだろう。

以上、11日間の旅行でしたが旅客機に乗った回数が11回。殆どが遅い到着と早朝出発の強行軍でした。これ以上、歳を取ってからでは無理な旅行だと感じました。

## 「ものの数え方」

城南支部 坂田秀一郎

日本語の「ものの数え方」は豊富である。

そこで具体例をもって実感してもらう事にした。

一丁・・・・鉄砲／豆腐／のこぎり／はさみ／  
包丁／かな／墨／三味線（一棹とも言う）

一面・・・・鏡、／碁盤／将棋盤／硯（すずり）  
／琵琶／面（めん）

一杯・・・・烏賊（イカ）／船（一隻、一艘とも言う）

一本・・・・傘／草／竹／笛（一管とも言う）  
／汽車（一両とも言う）

一柱・・・・位牌／神体（一体、一座とも言う）

一体・・・・遺骨／神体（一柱、一座とも言う）

## 「古紙用語」

先月号より古紙に関する「古紙用語」を掲載しています。知ってるつもりでも、説明を求められると自信がなかったり・・・そんな時にお役に立てればと思い掲載致しました。

## ◆品質規格

段ボール、新聞、雑誌、雑がみ、オフィスペーパーの5品種について、古紙再生促進センターが定めた品質基準のこと。禁忌品の混入や水分率の許容限度が規定されている。古紙取引の前提条件として、広く認知されてきた。各国でそれぞれの品質規格があり、海外取引では輸入国側の基準がベースになることが多い。

「古紙ジャーナル社より」

## ♪ことわざミニ知識♪

### 推敲（すいこう）

中国の故事に、「僧推月下門」の句を作った人が、「推す（おす）」を「敲（たたく）」に改めた方がよいかどうか苦慮して先生に問い、「敲」に決めた事から、詩や文章を作るにあたり、最適な字句や表現を求めて、いろいろと練ったり、練り直すこと。

## 支部スケジュール

### 千代田支部

忘年会	12月10日（月）菜の家
支部会	1月15日（火）菜の家
支部会	2月11日（月）菜の家
新年会	1月 日にちと場所は未定

### 文京支部

忘年会	12月18日（火）小石川「岡埜荘」
支部会	2月18日（月）すし常

### 台東支部

未定

### 荒川支部

未定

**足立支部**

支部会 3月 日にちと場所は未定

総会 5月 日にちと場所は未定

**山手支部**

忘年会 12月15日(土) 鮎やなぎ

支部会 2月19日(火) 鮎やなぎ

**城南支部**

忘年会 12月8日(土) 北大路銀座本店

新年会 2月23日(土)～24日(日)

河鹿荘

**江墨支部**

忘年会 12月20日(木) 亀戸すし屋の弥助

新年会 2月20日頃(婦人同伴) //

**城北支部**

忘年会 11月29日(木)「赤羽」店未定

支部会 2月 日にちと場所は未定(赤羽)

**◎直納部委員会及び忘年会**

平成30年12月19日(水)

場所：根岸「宮川」

午後5時～直納部委員会

午後5時30分～忘年会

**◎組合事務局・年末年始休暇**

平成30年12月29日(土)～平成31年1月6日(日)

**◎第15回組合合同新年会**

平成31年1月19日(土)

午後6時～

場所：上野・精養軒

**お 知 ら せ****[12月会議・催事予定]**12月1日(土)「紙リサイクル」コンテスト  
2018」表彰式開催のお知らせ12月4日(火) 共販輸出検討委員会(pm3:00~)  
上野・東天紅

// 常任理事会(pm3:30~)

// 理事会(pm4:30~)

// 清風会 講習会(pm5:30~6:30)

// 忘年会(pm6:30~)

12月15日(土) 山手支部 忘年会(pm7:00~)  
「鮎やなぎ」12月18日(火) 文京支部 忘年会(pm6:30~)  
小石川「岡埜荘」12月19日(水) 直納部忘年会  
直納部委員会(pm5:00~)  
忘年会(pm5:30~) 根岸「宮川」12月21日(金) 関東地区委員会(pm2:00~)  
センター会議室

12月29日(土)～1月6日(日)事務局年末年始休暇

**[古紙価格]****[東資協の古紙4品の標準売値]**

平成30年10月10日現在

新聞 8円～14円(上値上昇)

雑誌 5円～8円(横ばい)

段ボール 9円～13円(上昇)

色上(並) —

**[組合員新入会]**

江墨支部：ビルサービス(株)代表 赤澤泰正

ランクB 平成30年12月より

**[住所変更]**

- ・山手支部：(有) 徳永商店 (代表 徳永裕司)  
新住所 東京都豊島区高田1-6-14  
電話・FAX 03-3983-3768
- ・城北支部：(株) 小黒商店 (代表 小黒義昭)  
新住所 川口市坂下町3-2-10  
電話・FAX 048-286-2096

**会議概要 [9月・10月]****9月度定例理事会**

[平成30年9月5日(水)]於製紙原料会館・会議室  
出席理事18名・監事0名

**[理事長挨拶]**

先日の台風の影響で経済的に大きな被害が出ています。その関係で古紙の回収量も減少しています。全原連の正副理事長会議に参加した輸出業者の話では、古紙の輸出は順調になってきましたが、現在がピークで今後は横ばいか減少に向かうのではないかと話していました。2020年に中国は古紙の輸入を全面的に廃止すると発表していますが、中国国内の古紙の回収率は40%台で2年後にどうなるかは予測できない状況にあります。

現状で古紙業者が出来る事は品質の良い古紙をメーカーへ提供、輸出する事ではないかと考えております。

私事ですが、7月に検査入院をしました。学生の頃から持病があり過去に何度か入院をしました。ここ30年ほど症状が出ていなかったが、最近症状が出始めました。酷くなると長期の入院となり組合活動が出来なくなるので、その際は坂田副理事長と近藤副理事長に代わりをお願いしてあります。今後の状況により判断していきたいと考えております。

**[各部報告]****[直納部]**

9月度の共販輸出は、上物では3社から共に入札辞退の申し出があり、入札不可となり見送りとなりました。

裾物は段ボールとミックス共に同じく3社から入札辞退の申し出があり、入札不可となり見送りとなりました。

[上物] 上物の相場は変化なし。メーカーは秋需を控えて原料の買いに慎重になっています。

[新聞・雑誌・段ボール] 新聞古紙の発生は引き続き低調、発行部数減と折り込みチラシ枚数減は24ヶ月連続の減少。需要は5月以降3ヶ月連続で輸出量が増加し、今年1月～7月の累計だけでも前年1年間の輸出量を超えました。その影響で国内メーカーの在庫は大幅に減少し、8月末在庫も低位で推移しています。

雑誌古紙の発生は低調で、国内メーカーの雑誌古紙配合増も輸出の回復で在庫は減少しております。段ボール古紙の発生は安定している。国内メーカーの消費量増加と輸出向けが好調の影響で在庫が減少しています。

価格は3品ともプレミアム対応。

[返本] 7月期出版販売は前年同月対比3.4%減919億8000万円(全体)、内訳として書籍は6.0%減439億円、雑誌は0.8%減でほぼ前年並みで480億7900万円。返本古紙発生は前年同月対比88%。

**[集荷部]**

8月の発生は非常に低調。製本関係も仕事が少ない。集荷の取引先にアウトサイダーが価格が載ったチラシを配布している。

**[広報部]**

広報誌9月号の制作中です。「時の視点」では古紙ジャーナルより中国の古紙事情について原稿を書いてもらう予定です。

支部便りでは各支部で開催された納涼会を掲載し

ますので、支部長は原稿を提出してほしい。  
最近、掲載記事が少なくなってきたので、専務理事のアイデアで紙面を埋めるため古紙用語を載せるようにしました。これも「時の視点」と同様に古紙ジャーナル社に協力してもらおう事で了解を得ています。

#### [青年部]

9月18日(火)部会を組合会議室で開催します。  
10月24日～25日で四国の丸住製紙と愛媛パルプ協同組合を研修訪問する予定です。

#### [審議・検討・報告事項]

1. 9月19日の東資協との懇談会の担当者決めは提案通りで決定。
2. TPICOの認定講習会は2社2名が受講。
3. 直納部主催・海外研修(広州・ナインドラゴン)の参加者説明会は提案していた9月に実施できず10月4日となった。
4. 賛助会員の丸大食品(株)のお中元結果は、昨年末のお歳暮時期とほぼ同様の結果であった。
5. 組合脱退の報告:台東支部(有)森茂商店廃業により平成30年9月30日付で脱退。・・・原案どおり承認

## 古紙センター関東地区委員会

[平成30年9月20日(木)] pm 2:00～  
於)古紙センター会議室

[需要動向] 18/8月 単位トン、

( )は対前年同月比、在庫の( )は在庫率

#### [関東商組 32 社実績]

[新聞]	仕入	45,386( 86.9%)
	出荷	45,683( 87.2%)
	在庫	8,066( 17.7%)
[雑誌]	仕入	40,526( 88.1%)
	出荷	39,910( 85.4%)

	在庫	8,519( 21.3%)
[段ボール]	仕入	140,563( 98.7%)
	出荷	140,931( 98.9%)
	在庫	12,466( 8.8%)

#### [関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	153,439( 78.4%)
	消費	172,099( 83.7%)
	在庫	81,311( 47.2%)
[雑誌]	入荷	107,300(110.4%)
	消費	110,010(112.5%)
	在庫	50,188( 45.6%)
[段ボール]	入荷	326,423( 97.0%)
	消費	325,897(103.6%)
	在庫	76,896( 23.6%)

#### [業者側コメント]

##### [新聞・雑誌・段ボール]

・32社報告の8月古紙仕入は前月比、前年比で3品ともに減少した。在庫は前月比で新聞・段ボールは減少、雑誌は増加し、前年比では3品ともに増加した。

・三紙会報告の8月古紙仕入は前月比・前年比で3品ともに減少した。9月の仕入は前年比で段ボールは横ばい、新聞・雑誌は減少する見通しである。

##### [上物古紙]

・8月の上物古紙在庫はDIP向け模造を除き前年比で増加した。前年の在庫が少なかったことから、前年比は高くなっている。家庭紙向け古紙は需要期を迎えるが8月、9月は発生が振るわず、在庫が減少する見通しである。

##### [メーカー側コメント]

・8月の新聞の発注は横ばい若しくは増加、入荷は低調、消費は計画通りで一部メーカーは減配を行い、在庫は減少した。9月の新聞の発注は横ばい若しくは増加、入荷は低調、消費は北海道の震災の影響で一部減産するメーカーもあったが概ね計画通りで、在庫は減少する見通しである。

・8月の雑誌の発注は横ばい若しくは増加、入荷は低調、消費は増加し、一部在庫が少なく減配を始めたメーカーもあり、在庫は減少した。9月の発注は横ばい若しくは増加、入荷は低調、消費は計画通り若しくは増加、在庫は減少する見通しである。

・8月の段ボールの発注は横ばいから増加、入荷は低調で、在庫は休転を行ったメーカーもあり7月より増加しているが不足している。9月の発注は増加、入荷は低調、消費は安定しているため、在庫は更に減少する見通しである。在庫は10月、11月の需要期に向け逼迫した状況となる見通しである。

## 古紙センター業務委員会

[平成30年9月28日(金)] pm2:15～

於) 古紙センター会議室

- [1] 集団回収実施団体への感謝状・特別活動賞の贈呈について
- [2] 第7回日中古紙セミナーについて
- [3] 欧米の古紙輸出情報について
- [5] 古紙の需要・市況動向について

\*ページ数の関係で割愛させていただきます。

## 10月度定例理事会

[平成30年10月3日(水)]

於) 製紙原料会館・会議室

出席理事24名・監事0名

### [理事長挨拶]

赤染理事長から理事及び理事長の退任届が提出されたため、理事長となりました坂田智です。来年の5月に改選があるまで理事長として頑張りますのでよろしくお願ひ致します。

### [各部報告]

#### [直納部]

10月度の共販輸出は、上物では1社から入札が

あり、2社からは入札辞退の申し出がありました。しかし、今回の入札は組合が予定していた金額と大きなひらきがありスキップ(見送り)とさせていただきます。

裾物は段ボールとミックス共に3社から入札辞退の申し出があったため、入札不可となりました。裾物市況については国内メーカーがきつい状態で、操短するよりは機械を回した方が良い状況と見受けられます。

[上物] 上物の発生は低調。古紙業者は輸出向けだった古紙を選別して国内メーカーに廻すところもある。上物の価格は裾物に比べるとなかなか上昇してこない。

[新聞・雑誌・段ボール] 新聞古紙の発生は発行部数減と折り込みチラシ枚数減に加え、天候不順の影響もあり入荷は低調となりました。需給に関しては5月以降の輸出量増加でタイト感継続。9月末在庫も引き続き低位で推移しています。

雑誌古紙の発生は低調で、国内メーカーの雑誌古紙配合増と輸出の回復で在庫は余剰感から反転し強含みとなっています。

段ボール古紙の発生は安定している。国内メーカーの消費量増加と輸出向けが好調の影響で在庫が減少しています。

需給は今後も輸出増の影響を受け強含みが続くと思われます。

価格は3品ともプレミアム対応となっています。

[返本] 9月期出版販売は前年同月対比78%なので悪い結果でした。取次ルートが二つあるが両方とも70%台でした。

### [集荷部]

製本・印刷関係の仕事は少ない。発生は少ないが夏場に比べれば荷動きは少し良い。

### [広報部]

10月1日の広報委員会で11月号の制作会議を行いました。「時の視点」では新理事長の挨拶と

東方物産に「中国の古紙事情」について原稿を書いてもらう予定です。「支部便り」では各支部で開催された催しを掲載しますので、支部長は原稿の提出をお願いします。「組合員の広場」では、組合員の皆さんからの寄稿が最近ないので協力をお願いします。

ホームページは新理事長就任にともない、内容の変更を依頼中です。

#### [青年部]

10月24日～25日で四国の丸住製紙と愛媛パルプ協同組合を研修訪問する予定。

11月20日池袋ラウンドワンでボーリング大会を開催する予定。

#### [審議・検討・報告事項]

##### (1) 日程決め

①静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会  
事前会議 (pm1:15) 本会議 (pm2:00～)  
富士工業技術支援センター 11/12 (月)

②集直合同会議 pm4:30～ 組合会議室  
11/8 (木)

③直納部忘年会 委員会 (pm5:00)  
忘年会 (pm5:30) 根岸「宮川」  
12/19 (水)

④組合コンペ日程 (関東商組との親睦ゴルフ)  
後日、関東商組と開催の確認

⑤平成31年前半理事会日程: 1/10 (木)、  
2/5 (火)、3/5 (火)、4/3 (水)、5/2 (木)、  
6/5 (水)、7/3 (水)

(2) 清風会研修会 講演者の案 ①西川会計事務所又は ②商社からの市況説明

(3) 赤染理事長辞任による新理事長の選出  
定刻に至り齋藤浩二は議長席につき、理事会開会を宣し、ただちに議事に入った。  
第1号議案 赤染理事長辞任による代表理事(理事長)の選定の件  
互選の結果、全員一致により次の者が代表

理事(理事長)に選定され、就任を承諾した。

代表理事(理事長) 坂田 智

以上をもって議案全部の審議を終了したので、議長より閉会を告げ散会した。

## 古紙センター関東地区委員会

[平成30年10月23日(火)] pm2:00～  
於)古紙センター会議室

[需要動向] 18/8月 単位トン、  
( )は対前年同月比、在庫の( )は在庫率

#### [関東商組32社実績]

[新聞]	仕入	44,142(84.1%)
	出荷	44,999(86.8%)
	在庫	7,209(16.0%)
[雑誌]	仕入	37,988(79.9%)
	出荷	38,666(81.4%)
	在庫	7,841(20.3%)
[段ボール]	仕入	138,756(98.5%)
	出荷	139,277(99.3%)
	在庫	11,945(8.6%)

#### [関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	154,125(80.6%)
	消費	153,180(86.1%)
	在庫	81,346(53.1%)
[雑誌]	入荷	106,185(100.5%)
	消費	110,757(109.4%)
	在庫	44,752(40.4%)
[段ボール]	入荷	326,630(92.7%)
	消費	345,343(98.7%)
	在庫	60,230(17.4%)

#### [業者側コメント]

[新聞・雑誌・段ボール]

・32社報告の9月古紙仕入は前月比、前年比で3品ともに減少した。在庫は前月比で3品ともに減少し、前年比は3品ともに増加した。

・三紙会報告の9月古紙仕入は前月比・前年比で3品ともに減少した。10月の仕入は前年比で段ボール・新聞は減少、雑誌は増加する見通しである。

[上物古紙]

・9月の上物古紙在庫はDIP向け模造・ケントを除き前年比で増加した。前年の在庫が少なかったことから、前年比は高くなっているが、古紙の発生は振るわず、タイトな在庫状況が続く見通しである。

[メーカー側コメント]

・9月の新聞の発注は概ね横ばい、入荷は減少若しくは低調、消費は北海道胆振東部地震の影響を受け一部メーカーが減産したため、概ね横ばいから減少、在庫は概ね横ばいとなった。10月の新聞の発注は概ね横ばい、入荷は低調、消費は横ばいから一部減配をすすめるメーカーもあり、在庫は減少する見通しである。

・9月の雑誌の発注は概ね横ばい、入荷は低調若しくは減少、消費は概ね横ばいで、在庫は一部で増加したが概ね減少となった。10月の発注は概ね横ばい、入荷は低調、消費は横ばいで、在庫は減少する見通しである。11月の発注は概ね横ばいとなる見通しである。

・9月の段ボールの発注は8月の休転が終わり増加、入荷は低調、消費は計画通りで、在庫は大。

## 古紙センター業務委員会

[平成30年10月25日(木)] pm2:15～

於) 古紙センター会議室

[1] 集団回収実施団体への感謝状・特別活動賞贈呈について

[2] 段ボール・新聞・雑誌

2018年10月～2019年3月 計画

[3] 古紙の需要・市況動向について

\*ページ数の関係で割愛させていただきます。

## 編集後記

広報部副部長 宮内啓悟

当組合は10月に前理事長の赤染清康氏が一身上の都合で辞職され、新理事長に坂田智氏が理事長に就任されました。

坂田理事長には頑張って行ってもらいたいと思っています。

さて、今年も残すところ後1か月ちょいとなりました。

早い所では今月末から忘年会が始まる所もあるかと思えます。私は8月末に健康診断があり受診して来ました。結果は肝臓の数値が少し高かっただけで問題なしとのことだったので、今年も行ける限り忘年会に参加しようと思っています(笑)

皆様も今後、忘年会、新年会と続くと思いますがくれぐれも飲み過ぎにはご注意ください!

この前ニュースになった元アイドルグループの人も前日飲酒して、朝酒気帯び運転で事故を起こしました。睡眠をとっても人によってはアルコールの抜けが違うようなので、現場作業する人も集荷で運転する人も、くれぐれも飲み過ぎず事故の無いよう、安全作業、安全運転で頑張って下さい。

